

学校だより

熱 沙

＜発行＞
令和5年2月7日
発行責任者：校長
和田 政男

G1 と幼稚園の交流学習・「DJK パーク」へようこそ

2月6日、G1の生活科では、幼稚園児を招待し、手作りおもちゃで一緒に遊ぶ、「DJK パーク」を開催しました。秋頃、G2の子ども達がG1を招待して行った「DJS パーク」の体験をもとに、今度はG1が幼稚園を招待したのです。それぞれのおもちゃのブースでは幼稚園児が興味深そうにG1の子ども達の説明を聞いて、一緒に遊んでいました。子ども達はどのようにすれば丈夫で壊れにくく、またシンプルな使い方で楽しめる玩具になるか、探究の過程を歩みつつ、「誰かのために」工夫を凝らしました。その取り組みに感心しています。

KHDA インспекションが2/13～16にあります

一昨年、昨年とコロナのために行われていなかった KHDA インспекション（学校査察）が2月13日～16日にあります。児童・生徒の日課に変化はありません。普段通りの学習の様子を見ていただきます。ただし、保護者のインタビューや児童・生徒のインタビューも行われる予定ですので、学校や KHDA から何人かの保護者、児童・生徒に依頼が入ると思います。その際には是非ご協力くださいますようお願いいたします。

学校評価アンケート自由記述のまとめ その4

＜デジタル端末の使い方＞

- ドバイにきて タブレットの使い方が うまくなったと思います。
- 家庭での基本的指導も必要かと理解しますが、通信機器でのやり取りに依存しすぎ、利用のよい面がうまく取り入れられていない面も伺える気がします。
- いま一度、デバイスの使用について、teams の使い方（連絡する時間）について、学校でも先生方、子ども達で共通理解を図って頂きたいとおもいます。
- ICT を活用した授業の良さ、便利さについては理解しているつもりです。ただ、コロナ禍からずっと気になっていることですが、こども達がタブレットに頼りきりな傾向があります。タブレットですぐに確認できるからなのか、明日の時間割を何度もタブレットで確認しています。覚えよう、とする気持ちがない気がします。後から誰かにチャットで聞いたらいいや、板書が間に合わなければ写真を撮って後から見返したらいいや、そういう安易な気持ちが見て取れる時があります。使い方のバランスがこども達にとってはかなり難しいと感じます。ルールを決めても、これだけ便利で刺激の強いものは、統一してなかなか守れないのが現実だと思います。個人的にはもう少し Teams に頼らない方針を望んでいます。
- タブレットを使っでの学習によって、オンライン授業をしていただいたり、連絡事項が teams でできるよさは感じています。ただ、朝起きてから夜寝るまでタブレットを気にしている様子が気になります。

↓ 「DJK パーク」の一場面



- ICT についてもパワーポイントで発表する以外はメモや手紙な辞書代わりになっているだけで、本人の意欲や忍耐力、深い考察が促されているとは感じておりません。
- コロナ以降、オンライン授業の導入もあり、一気に端末利用の機会が増えました。それと共に上記のような懸念される状況も確かにあると思います。学校でも利用のルール、利用のバランス等に配慮し、工夫を継続したいと思います。本校のみではなく、全国的な課題であると思います。

＜身体を動かす機会＞

- 放課後のクラブ活動がなくなってしまったままなのが残念です。
- 熱沙祭等で体育館が使えず体を動かさなかった時にトラブルが起きたかと思うので、もっと子供たちが外に出て遊べるような環境を作ってほしいと思います。
- 次年度に向け、授業時数の確保、先生方の勤務時間との兼ね合いで、いくつかの案を検討しています。

（次号に続く）